◇ライフバイオリズムを振返って、どのような気付きがありましたか。

・大学受験に失敗したときは人生で初めての挫折ということもあり随分と落ち込んだ。しかし、その時に自分の将来は自己責任で切り開いていくものだということに気付いた。そうして、弱点を克服すべく、苦手な語学に力を入れ始めた。

・第一志望の大学に合格したときは1年間の努力が実り本当に嬉しかった。ただ、大学で友人がなかなかできなかった。今、思うと自分が傷つきたくないという思いが強く、表面的な付き合いしかしていなかったのかもしれない。

・友人に誘われて入ったボランティアサークルでは、思いがけず新しい発見が多かった。人に対する優しさは自分に余裕がないと持続しないこと、後輩に対して甘いのは自分自身に甘いことが原因であること、信頼は一瞬で崩れること、などいろいろと学んだような気がする。人に対する興味が強くなった気がする。

・障害者施設でアルバイトを始めたときは人的ネットワークが広がり世界が広がった。人に喜ばれる仕事にやりがいを感じるようになった。

・失恋・・・ボランティアサークルから足が遠のくきっかけとなった。自分本位で物事を考えていたような気がする。

・海外に留学しようと思ったのも半分は自己逃避だった。ただ、抱えている問題に正面から向き合ってこそ解決するのであり、問題から目をそらしていてはいつまでも“かさぶた”のままになるのだと気付いた。

・外交官になりたくて国家試験を受けたが落ちて、そこから民間企業の就職活動に気持ちを切り替えることができなかった。ただ、試験にチャレンジしたことは後悔していない。